

# たま



多摩市議会  
ホームページはこちら

## 市議会だより

tama city council

No.245

発行 多摩市議会 〒206-8666 東京都多摩市関戸六丁目12番地1 TEL: 042(338)6890・6891 FAX: 042(372)6761



### 特集

- ◆ 令和7年度予算案への各会派の意見
- ◆ 常任委員会：所管事務調査最終報告
- ◆ 市長施政方針への代表質問
- ◆ 市民との意見交換会

「園児に遊ぶ こいのぼり」  
撮影者：西川哲矢さん(市内在住)  
撮影場所：鶴牧東公園ふもと エステート鶴牧3団地の東側 出入り口

令和7年第1回臨時会は5月16日です

#### 令和7年 第2回多摩市議会定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
6/1	2	3	4	5	6	7
				本会議 (行政報告等・一般質問)		
8	9	10	11	12	13	14
		本会議 (一般質問)		本会議 (議案等審議)		
15	16	17	18	19	20	21
	常任委員会 総務 健康福祉		生活環境	子ども教育	(仮称)多摩市役所 新庁舎建設等 特別委員会	
22	23	24	25	26	27	28
	代表者会議	議会運営 委員会	休会日	本会議 (議案等審議)		
29	30					

※日程は変更になる場合があります。

8月5日号に掲載する  
表紙写真 募集中!

多摩市ウェブサイトにて、「議会だより表紙写真」で検索

議会だより表紙写真

検索



- ◆ 特集 令和7年度予算案への各会派の意見 ..... 2
- ◆ 特集 常任委員会 所管事務調査最終報告 ..... 4
- ◆ 特集 市長施政方針への代表質問 ..... 6
- ◆ 一般質問等 ..... 8
- ◆ 議長活動報告 ..... 12
- ◆ 審議結果 ..... 13
- ◆ 特集 市民との意見交換会 ..... 14
- ◆ 市民と議会 ..... 16

# 令和7年度予算案への 各会派の意見

一般会計予算を審議する際に行った討論(各会派を代表して、その案件に対する賛成・反対の意見を表明すること)をご紹介します。

## 物価高騰のなか市民生活を守りながら「こどもまんなか社会」の実現へ

原案可決



公明党  
本間 としえ

### 令和10年以降の大型支出に備えての財政負担を明らかに!

急激な人件費や物価高騰の影響もあり、予算要求の時点で歳入、歳出に80億円の乖離が出る中で、の難しい予算編成でした。財源として財政調整基金を24億4千万円と大きく切り崩し、地方債の発行額も前年より増えました。

この先に必要な費用を洗い出し、補助金確保や、施設更新の見直し、未利用地の活用等に着手し、後年度負担の軽減・財源確保に力を注いで下さい。

厳しい財政状況の中でも、物価高騰で苦しむ市民の暮らしを守る視点を忘れず、年度途中の補正対応も躊躇しない市政運営をお願いします。

### 子育てに適した環境の維持・充実に力強く!

●予算に入っていなかった小学校体育館の断熱及び空調機の設置は避けては通れない喫緊の課題で、早急な対応が必要です。

### ●こども誰でも通園制度

13園に拡大実施することを評価しますが、ニュータウン地域に偏ったため、既存地域の方々が利用しやすい工夫を考えていただきたいです。

### ●放課後子ども教室事業

一昨年から開始した2校に加え、4校に拡大したことを評価しますが、居場所となる小学校の室内及び体育館の空調設備設置と、他校への拡大を要望します。

●児童館の今後のあり方基本方針について、児童と保護者の意見に耳を傾け、18歳までのより多くの子どもたちが楽しめる児童館にして下さい。

●小学校登下校の見守りの安全指導員については、子どもの安全が確保できるよう、今までの通りの配置基準にして下さい。

●子ども被爆地派遣事業により、着実に若い世代へ被爆の実相が伝えられています。「歴代派遣員平和活動事業」により、核廃絶に向けた若手リーダーの育成を望みます。

## いまこそ住民の暮らしを支える市政を!

原案可決



日本共産党  
大くま 真一

物価高騰が暮らしを押しつぶしています。米は昨年の倍、他の食品や燃料等も高騰し、実質賃金は三年連続で前年を下回っています。緊急に暮らしを支えることが求められる中、政府与党および、一部野党は暮らしそっちのけで大軍拡を強行しています。

### 住民の暮らしの支援こそ市の役割

市の予算では市税収入を過去最高と見込む一方、物価高騰や扶助費の増等により、財政状況が厳しいと強調されました。

党市議団として、扶助費は義務的経費であり、国都の補助を除く市単独負担は額面の約3分の1であること、多くを市が負担する物件費(実質的人件

費部分を除く)の伸びこそが、財政を圧迫していることを示しました。

### 身近な行政として悪政の最後の防波堤に

物価高騰は市のみならず、住民の暮らしを直撃しています。下水道料金の減免や物価高騰の悪影響が大きい福祉分野への補助、住民の足ミニバスの存続、また、すべての基盤となる対話による平和構築の促進等をとりあげ、「身近な行政として、住民の暮らしを支える施策が求められている」と市を質しました。

市も「住民の苦境は理解している。財源等の目途がつき次第、提案する」と答え、最終日には物価高騰対策を含む補正予算を提案、成立しました。

一般会計予算等については賛成。保険税の連続値上げ方針をとる国民健康保険特別会計予算には反対しました。

## いよいよ財政硬直化進む!ここを乗り越えることに期待

原案可決



自民党  
松田 だいすけ

### 物価高騰対策と人材確保を優先的に

今回の予算編成について、予算要望段階の数字と当初予算との80億円の乖離があったという現実を他の自治体では概ね非公開、非公表とする中、しっかりと厳しい現状を議会と共有し、透明性のある財政運営に取り組む点に関しては高く評価致します。

職員の離職率上昇、物価高騰による建設事業費・物件費の支出の増加、行政運営に欠かせない人材と財力について今後も努力して取り組むことに期待します。

### 全庁的にアセットの感覚を持って

2013年に策定した『多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム』からはじまる公共施設の適正配置の考え方、(仮称)アセットマネジメント計画でいかに維持管理費の抑制や駅前の実質未利用地・施設などを活用していくかにかかっており、全庁的にもアセットの感覚を持ちながら事業に臨んでいただきたいと思います。

たとえばここ数年の働き方により特に浮き彫りになってきた学童待機、いまは放課後の子どもの居場所問題とする方がふさわしいかもしれませんが、ハコモノを増やしていくのではなく、学校の教室を利用した放課後子ども教室の拡充などの課題解決は『子ども青少年部』と『教育委員会』が庁内で横断的に連携が取れた結果であり、今後も各事業においてできる限り庁内での横断的な取り組みを期待します。

子どもや環境を守るため他の事業をやめてでもやらなければならない **原案可決**



ネット・市民の会  
岩崎 みなこ

**環境の拠点にグリーンライブセンターが変わるため**  
環境の拠点になることで1800万円近く委託料が増加します。しかし、成果指標は昨年と同じです。

環境の拠点の指標として何を設定すべきか、改めて検討すべきです。

**こどもまんなかの予算とは**

物価高で中学校の標準服も値上がりしています。

学校によっては6万3千円になり、10代のお子さんの家計を苦しめています。就学援助費は生活保護基準の1.4倍までの家庭に支給しますがそれ以上の収入が多少あっても生活の苦しさは変わらないと感じます。市長は、当初予算を段階的予算だとし補正予算を出すようですが、物価高に寄り添った施策の打ち出しは必要です。

優先順位が高いと言う「小学校体育館の空調と断熱」ですが、予算化していないためこの夏までに空調は付きません。これから、本格的に、暑くなります。日野市議が2020年に体育館を視察した報告の中では、断熱を施した模型での実験で、表面温度が53度でも内側は19度であったとの結果もあり、多摩市は出遅れた感は否めません。

まちの活性化と財源の確保は最重要課題 **原案可決**



多摩みらいの会  
しのづか 元

将来の市民生活を支える財源の確保は重要な課題です。ニュータウン再生を進めるにあたって、産業振興と都市計画という、ソフト・ハード両面からのアプローチとなる計画の着実な実行と、その進捗状況が市民にも見えるような取り組みを望みます。

予算を評価。危機意識の共有を。 **原案可決**



志政会  
藤原 マサノリ

財政の硬直化が進む中、義務的経費といえども聖域化することなく、ゼロベースでの事業の検証を。無駄の排除と優先順位を図り、最小の経費で最大の効果を生む創意工夫を。また、災害対策と日医大多摩永山病院の再構築は喫緊の課題。市民の命を守る施策を最重要視すべき。

こどもが暮らしやすい街はだれもが暮らしやすい街 **原案可決**



あすたま・維新  
おにづか こずえ

**子育て世代が働きやすい環境を！**

令和7年度予算は685億5千万円、その中、物価上昇の影響で物件費が約26億円増加、扶助費は約20億円増加と厳しい影響を受けています。扶助費は子ども、高齢者、障がいのある方への支援など減らすことのできない予算です。

その中でも令和7年度は週5日開催される放課後子ども教室が2校増加し、こども誰でも通園

制度を実施する園が13園に増加、インクルーシブな広場は多摩中央公園に続き大谷戸公園でも整備されます。昨年は1万人が参加した、たまこどもフェスの開催なども予定され、会派と致しましては大変期待するものであります。

循環型社会は教育を含めて実践体制を **原案可決**



多摩の風  
折戸 小夜子

- ①公園緑地、街路樹の落ち葉を自区内処理堆肥化し、都市農業への支援や公園内の土壌改良の実施は環境を保全し、持続可能な社会への基盤作りだと指摘。
- ②多摩センター駅バス停ロータリーは居心地が悪い。汚い、暗い、路面が滑る、日差しがきついなどの市民の声が多い。優先的に解消対策を。

安全安心に市民が未来まで住み続けられる環境整備 **原案可決**



青空りっけん  
しらた 満

歳入の利子割交付金、令和7年度1億4253万円、令和6年度4280万で233%増。これは日銀の預金利率の上昇による。経済情勢に注意し減少へのリスクを考慮すること。災害時、物資を集積する市役所への緊急輸送道路の無電柱化と避難場所の小学校体育館エアコン設置が市民を守るには急務。

日医大建替え問題と、抜本的な行財政改革は目下の課題！！ **原案可決**



日本維新の会  
藤條 たかゆき

税収は過去最高も、物価や人件費高騰が影響し、財政調整基金から大きく切り崩しが行われました。前年踏襲の予算編成ではなく、抜本的な行財政改革が急務です。日医大多摩永山病院の建替えやウォークブル推進都市の実現、自動運転や共助版ライドシェア等で地域交通の再編成が求められます。

義務的経費とは…

支出することが義務づけられていて、任意には削減できない人件費、扶助費、公債費のこと

財政調整基金とは…

財政状況の悪化により財源が著しく不足する場合等に、貯金をおろし不足を補うことを目的とする基金で、いわば普通預金のようなもの



# 常任委員会 所管事務調査 最終報告

## 総務常任委員会

### 市民生活と市の業務に関するDXについて

#### DX先進自治体等への視察の成果

2023年10月、「書かない窓口」システム導入の新潟県見附市を視察。住民基本台帳等のデータ活用で職員が市民から聞き取ってパソコンで必要な書類を発行しています。

2024年7月には、横須賀市で、①介護認定調査におけるタブレットの活用、②相談業務での生成系AI活用を視察。①では、データを直接認定審査会に出せる、入力時に矛盾するチェック項目がわかるなどの利点があります。②では、会話記録の要約と報告書作成へのAI活用で時間の大幅短縮と職員の負担軽減が図られます。

2024年10月には、愛知県西尾市における「LINEの活用」を視察。公式LINE「友だち」登録者数を141,880人(人口比83%)にまで意識的に増やしLINEを入口にしたさまざま



▲西尾市役所での視察の様子

な行政サービスにつなげています。

#### 市からのヒアリング、委員間の意見交換をふまえての市への提案

1. 「書かない窓口」では、市が実施した職員による「窓口利用体験」という画期的取組みを活かし、2026(令和8)年度中のできるだけ早期の導入をめざすこと。
2. 介護認定調査のタブレット活用は来年度から市も導入予定だが、認定調査、1次判定、認定審査会での2次判定のスピードアップを実現すること。
3. 市も生成系AIを活用して昨年「通知文書やお知らせ文書のたたき台、各種施策のアイデア出し」の試行運用を開始したが、前向きに導入をすすめていくこと。
4. LINE登録者を大幅に増やしLINE入口のデジタルサービスにつなげる工夫、さまざまなSNS利用のオンライン手続きの充実を図り、住民サービスの向上につなげること。

## 健康福祉常任委員会

### 認知症の方及びそのご家族が、地域で安心して暮らすための支援について

#### 認知症の方とご家族を孤立させない

この度、健康福祉常任委員会から提案した事業を以下ご紹介いたします。

まず、「認知症個人賠償責任保険」への加入です。これは、認知症の方が他人の身体や財物に損害を与えてしまった場合、ご家族が責任を負うケースがあるため、トラブル時に対応するためのもので、保険契約者は市で保険料も市が負担するものです。また、徘徊時に備えて、より小型の「GPS端末」のさらなる普及を進める必要があります。

そして、認知症の方及びご家族の方が社会から孤立しないため、そしてお互いの悩みや意見を交換する場所として、「認知症カフェ」の増設は必要不可欠です。民間企業などと連携し、幅広い運営をめざすよう提案しています。

現在は、高齢者の約5人に1人が認知症という時代です。核家族化が進み認知症という言葉を知っていても、子どもたちはその症状などを詳しく知る機会はありません。これからは教育現場においても、認知症をもっと分かりやすく学ぶ機会を積極的につくっていくべきと考え提案しています。

加えて、認知症施策の先進市では、条例や宣言、あるいは指針などを制定しています。そうすることで、行政、地域、市民、事業者、企業などの連携が深まり様々な施策がスムーズに展開するからです。高齢者にあたたかい市であり続けることが必要です。

#### 認知症の方の尊厳と人生を守る

本委員会では、介護を受ける方の尊厳を守り人間らしさを取り戻すためのケア技法「ユマニチュード」に注目しています。富山県立大学では、看護基礎教育にこの技法を活用。福岡市では自治体として全国で初めてこの技法を導入し、学校教育でも取り上げています。このユマニチュードの普及啓発を検討するよう市に求めています。



▲福岡市とのオンライン視察の様子

所管事務調査とは、各常任委員会が自主的にその委員会の担当している市の業務(所管事務)について行う調査です。今号では、3月で調査を終えた4つの常任委員会の所管事務調査について報告します。

## 生活環境常任委員会

### 地域公共交通について

#### 健幸まちづくりは外出促進から

公共交通の利用環境を高めることは健幸まちづくりにも大きく寄与する取組みです。交通弱者の外出保障、交通不便地域の解消、持続可能な公共交通の実現などについて調査を行いました。

- ・バス事業者へのヒアリング…市内で路線バスを運行する京王バスへのヒアリングを行い、コロナ禍による利用者の減少や運転手不足など、事業者を取り巻く課題を認識。
- ・AIを活用したデマンド型交通…AIで配車ルートを決定するデマンド型乗合バスを導入している長野県茅野市へ行政視察。多様化している市民ニーズへの対応や交通不便地域での活用などの利点を確認。
- ・地域力の結晶…桜ヶ丘地域で移動支援を行っている「桜ヶ丘の移動を考える会」との意見交換会を実施。利用者からは、送迎があるから家を出られると好評の声が寄せられている。
- ・官民連携と自動運転…愛知県豊明市では民間企業と行政が協力したビジネスモデルによる高齢者の外出促進の手法を、岐阜県岐阜市ではレベル4の自動運転をめざして運行して

いる自動運転バスの運行体制やインフラ整備の状況を視察。

#### 持続可能な公共交通の実現へ

- 1.ミニバス路線の継続を確保することが重要課題。事業者との話し合いの継続、南北線・東西線との調整等、継続維持のため取組みを強めていただきたい。
- 2.三多摩地域の自治体と協力し、国や東京都に対して財政負担等の支援を要求し、運転手確保に関しては画期的な待遇改善が図れるよう求めている。
- 3.自動運転は進化しているが、すぐに運転手不足を解消する段階ではない。国や東京都の実証実験への協力を積極的に行い、多摩ニュータウン再生の一つの手段として考えていきたい。



▲豊明市役所での視察の様子

## 子ども教育常任委員会

### 子ども・若者への支援について

#### 子ども若者支援の先進的な取組みを視察

- ・令和5年10月 京都市立洛風中学校(学びの多様化学校)、豊橋市子ども若者総合相談支援センター「ココエール」
- ・令和6年10月 名古屋市立山吹小学校(自立できる生徒の育成)、奈良市若者サポートセンター「Restartなら(リスなら)」

#### 子ども若者への支援の要望・提案を市側に提出

悩んでいる子ども・青年世代の具体的なニーズにあわせた、切れ目のない支援ができるように、庁外も含めた広範な支援ネットワーク・支援体制を構築すること。それには所管である子ども青少年部だけで対応するのは困難なため、福祉、就労支援分野なども含めて、市全体として進めるために、以下3点を要望しました。

- 1.ひきこもりなどで支援が必要だが、行政との繋がりのない方、特に高校進学時や就職時などの学校を離れた時点の若者に対して、積極的に支援に結び付けることが現在は不十分である。このような方たちに対するアプローチや、社会に

繋がるまでの切れ目のない伴走型の支援について、具体的に考える必要がある。政策的な会議で現状を全庁で共有し、福祉や就労を含め、社会に出ていくために必要なもの、様々な人が繋がる仕組みを検討し、支援体制を構築すること。

- 2.支援全体をコントロールできる仕組みを検討し、安定した社会生活を送れるまでの一定期間、定期的な状況把握をすること。
- 3.ひきこもりなどの当事者を社会に繋げていくためには、一人一人の状況にあった様々な居場所が必要となる。当事者のニーズを捉えた居場所の開拓や、本人の適性に合った安定した就労等に向け、協力していただけるトレーニング機関や企業などの開拓にも力を入れること。



▲奈良市議会議場での集合写真



公明党  
池田けい子

## みんなで支え合い、つながる地域社会をめざして

### みんなで取組み、変えよう！

**問** 多摩市の「平和」への取組みについて伺うとともに、植樹して10年の「被爆アオギリ2世」の啓発・周知を要望するがいかがか。

**答** 平和展において戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、子ども被爆地派遣事業の歴代派遣員には継続して活動できる場づくりに着手している。多摩中央公園内において、アオギリの紹介掲示板の設置など検討していく。

**問** 環境問題は大人が責任をもって取り組むべき問題である。ペットボトルの排出ルールは徹底されてきたが、マナーが守られていない現状について見解を伺う。

**答** 集積所の改善に向けた啓発を行う。

**問** 依然として減らないタバコのポイ捨て、歩きタバコ、重点区域内の喫煙所の場所について再検討を求めるがいかがか。

**答** 市民の行動変容に向け、周知啓発に取組み、喫煙所については検討していく。

**問** 会員の減少や高齢化による役員の成り手不足が生じている自治会等への具体的な支援を求めるがいかがか。

**答** 活動を支える「しくみ・しかけ」が必要であり、

デジタル技術活用を検討していく。

### みんなで健幸安全に暮らそう！

**問** 老朽化による下水道管の事故が全国で相次いでいる。市の現状を伺うとともに、多発している悪質業者などの詐欺に対して、市民に注意喚起をお願いしたいがいかがか。

**答** 緊急点検を実施し安全を確認した。詐欺等への注意喚起を行っていく。

**問** 若者の心身の健康を守るため、まちの保健室「ユースクリニック」が注目を浴びている。市内の設置を望むが見解を伺う。

**答** 重要性は感じている。研究していく。

**問** 介護予防リーダー等の担い手に、学生等の活用を提案するがいかがか。

**答** 高齢者の方々が健康的な行動を続けていただけるよう、検討し取組んでいく。

**問** 非常時の備えには限界がある。日常生活の質を高めながら非常時(災害対応)にも役立つ「フェーズフリー」の考え方を取入れ、まちづくりを行うべきではないか。

**答** 「防災都市多摩」をめざし、まずは防災からフェーズフリーを進めていく。

## 平和、命、暮らしをまもり、住民と共にある市政を

### 基礎自治体は悪政の最後の防波堤

**問** 平和は基本的人権を保障し、住民の生命・財産をまもる土台。核廃絶を実現し、抑止力論からの脱却が必要ではないか。

**答** 平和首長会議の一員として取組みを進める。

**問** 物価高騰と負担能力に応じた税負担の原則を壊す消費税が住民の暮らしを追いこむ中、政府は命・暮らしを軽視し、大軍拡を進めている。高額療養費の引き上げ検討はその象徴。「80億円足りない」、「物価高騰でも大変」ではなく、住民に寄り添った対応・打ち出しが必要ではないか。

**答** 住民の暮らしが大変な状況は認識している。引き続き暮らしを支えていく。

**問** 東日本大震災・福島第一原発事故から14年。「自助・共助・公助」と言われながら、災害対応やインフラ整備において「公助」が弱められてきた。いわゆる「非正規公務員」や「民間委託」への依存

は、市のノウハウ蓄積や公的責任を果たすことを阻害しかねない。認識を伺う。

**答** 公的責任を果たしていく。民間委託・PFIなどの「手法ありき」ではなく最適な手法を選択していく。

### 住民と共につくる多摩市に

**問** 「協創サポーター制度」は単なる「体験」ではなく、住民とタッグを組んで動ける仕組みづくりを急ぐ必要があるのではないか。

**答** 仕組みづくりを進める。

**問** コミュニティ施設・児童館の二つの「今後のあり方基本方針」は市民との信頼関係を再び壊しかねない。市民との適切な協議が必要ではないか。

**答** 基本方針では市の考えを示した。引き続き住民との協議を重ね、真摯に対応を続ける。



日本共産党  
大くま真一



3月の多摩市議会第1回定例会では、市長の施政方針に対し、4会派が代表質問を行いました。

施政方針とは、市長が市政運営の基本方針や、主な施策の方向性を示すものです。

代表質問とは、市長の施政方針について、会派を代表し大局的見地から行う質問です。

なお、施政方針は多摩市公式ウェブサイトで、代表質問はYouTubeでご覧いただけます。また、会議録は6月中旬以降、市内の各図書館や多摩市議会のウェブサイトでご覧いただけます。



令和7年度  
施政方針



各議員の動画は  
こちらから

# 施政方針への 代表質問



自民党  
松田 だいすけ

## 物価高騰・人手不足の中での厳しい行政運営

### 物価高騰と若手職員の離職

**問** トランプ大統領が就任し、平和人権やエネルギー政策について方向転換を図ると予想されるが、市長の見解を伺う。

**答** 米国政府の方針が直ちに本市の取組みに影響を及ぼすものではなく、これまでの取組みを進めていく。

**問** 市民生活の上でも電気・ガス代、米などの食料品等の価格高騰が著しい。物価高騰についての見解を伺う。

**答** 物価に対して賃金が追いついていない状況である。当初予算での取組みのほか重点支援地方交付金の活用や、国や都と連携し状況に応じた支援を検討する。

**問** 近年、自治体職員の転職が顕著である。本市の職員の離職・転職についての現状と要因を伺う。

**答** 本市の中途退職者は平成30年度1%前後だったが、令和5年度には4.66%に増加。要因は働

き方や価値観の多様化、仕事と生活の両立など多岐にわたる。

### 庁舎建替えとアセットマネジメント

**問** 市庁舎建替えを計画する中、物価と人件費により工事費が高騰している。今後、計画・設計を進める中でも価格高騰は続くと思うが見解を伺う。

**答** 工事費が増額となる可能性はある。庁舎として必要な機能を見極め、合理的な設計や適切な工期を設定し費用を抑制していく。

**問** 「(仮称)アセットマネジメント計画」策定にあたり、駅前の未利用の土地・施設を有効活用することが不可欠である。宿泊施設の誘致等も含め見解を伺う。

**答** 多摩センター駅近くの鶴牧倉庫については好立地を生かし民間活用を図りたい。企業立地促進条例改正も念頭に市の資産活用に向け対応していく。



ネット・社民の会  
岸田 めぐみ

## 地球沸騰化時代に必要な対応を行い、人権を守る市政を

### 気候危機に対応していない学校施設

**問** 2024年度も最も暑い夏になったが、新たな対応策は総合体育館の空調設置のみである。子どもたちが過ごす学校の断熱や遮熱について伺う。

**答** 学校施設の断熱化の義務はないが、近年の暑さで空調効率が悪いことは認識しており、調査研究していきたいと考えている。

**問** 小学校体育館には空調設備もない。学校生活への影響を伺う。

**答** 授業に影響が出ていることは、十分に認識しており、条件が整えば早く対応したい。

### 人権を守るためにできること

**問** 団塊世代も後期高齢者となった。増えている独居高齢者が地域の中で生活していけるように

準備が必要であるが、考えを伺う。

**答** 厚生労働省で生活支援サービスについて研究班が立ち上がっている。本市でも支える仕組みを引き続き検討していきたい。

**問** 介護離職・介護虐待の視点での支援はあるが、家族介護者の権利や生活に特化する法はない。介護者支援について伺う。

**答** 地域包括支援センター等で地域のネットワークを活用しながら、地域の社会資源を使い介護できるよう進めていきたい。

**問** 子ども・若者権利保障の観点に立ち、総合オンブズマン制度の条例改正が必要であると考えているが、考えを伺う。

**答** 環境整備は必要と考えている。

# 市政に関する

## 一般質問 要旨

第1回定例会では、16名の議員が質問を行いました。質問は、インターネット上で録画をご覧ください。

YouTube 多摩市議会 で検索してください。



各議員の動画は  
こちらから



多摩市議会会議録  
検索システム



### 藤条たかゆき (日本維新の会)

市長施政方針について

- 問** 財政調整基金からも大きく切り崩しての予算編成となったが、以降もこうした状況が続くようでは、構造的な予算の組み替えを行っていく必要にも迫られてくるだろう。本予算編成の主な考え方・方針を伺う。
- 答** 市民生活に影響を及ぼさない配慮と、総合計画への歩みも止めず、将来への投資にも取り組んでまいりたい。
- 問** 多摩市民の大きな関心事となっているのが日医大多摩永山病院の建替え問題だ。建替え断念という通知後も、先方とは定期的な協議の場などは設けているのか。
- 答** 日医大側と直接、移転・建替えに向けた協議の場は設けられていないが、協議再開が叶うよう対応していく。
- 問** 自動運転バス等、移動モビリティの実証実験も市内で実施され、移動不便・交通空白地域の解消に向けた公共交通の再編・再構築に対する意欲も感じ取れた。実験としては多くの実績がある本市であるが、社会実装に向けた今後の取組みと実現可能性について伺う。
- 答** レベル4の運行までには、数年単位の期間がかかる。



### 折戸小夜子 (多摩の風)

- 1.日米地位協定の抜本的な見直しを
- 2.気候非常事態での自然災害に備える

- 問** 日米地位協定は1960年に日米間で締結以降一度も改定されていない。相次ぐ米兵の性犯罪や米軍機の昼夜間飛行で爆音被害など市民生活に深刻な被害が続いている。共同通信の調査では全国47都道府県中の33都道府県が、協定の改定が必要と回答。この機を逃さずに全国市長会から国に対して協定の抜本の見直しの決議を挙げる対応を阿部市長から発信していただきたい。見解を伺う。
- 答** 全国市長会はもとより、東京都市長会とも連携し、必要な場面で声をあげて、粘り強く働きかけていく。
- 問** ニュータウン地区の遊歩道の側溝は約80%が詰まっている。線状降水水帯などに対応するための総点検が必要だと考えるがいかがか。
- 答** 多摩市道路整備計画の改定で道路と公園の業務を包括した維持管理の方法を検討する。
- 問** 南豊ヶ丘フィールド敷地内の西側の樹木の立ち枯れは異常な景観だ。強風で樹枝の落下が想定されるが対応を伺う。
- 答** 維持管理を行っている一般社団法人東京グリーンスポーツリンクが安全面を配慮し、危険性のある樹木を伐採する。



▲南豊ヶ丘フィールド内の枯れ木



### 石山ひろあき (自民党)

聖蹟桜ヶ丘駅周辺における活性化について

- 問** 以前も質問した聖蹟桜ヶ丘駅からせいせきカワマチまでの誘導サインの整備について状況を伺う。
- 答** 非常に重要だと考えている。聖蹟Uロード周辺の既存の標識につけることを想定して早期に実施していく。
- 問** 一ノ宮公園近くの鉄道高架下は非常に暗く、市もパネルで対策していたが、風でパネルが飛んでなくなっている。違う形で注意看板を考えているか伺う。
- 答** エリアマネジメント団体の意見を聞き対応する。
- 問** マンション建設が進み子どもが増え、保育園の待機児童や居住する小学校の学区変更など問題はないか伺う。
- 答** マンション事業者の協力のもと令和12年度まで情報収集している。現段階では施設的に対応できる範囲であり、推移を確認している。
- 問** 今後、市財政を考えた上でも聖蹟桜ヶ丘エリアマネジメントを国や民間機構から各種補助や融資、税制特例が申請できる都市再生推進法人に指定を検討しているか伺う。
- 答** 制度の研究をし公民連携に基づく街づくりが推進していくよう法人指定に向け前向きに検討していく。



▲風で剥がれた注意喚起パネル



**橋本由美子** (日本共産党)

- 1.公園トイレ撤去決定は慎重に
- 2.アルコールマナーと健康配慮
- 3.高額療養費上限引上げは問題

- 問** 公園再編に向けた社会実験目的と成果を伺う。
- 答** 大谷戸地域の実験では、今後の利用案を机上だけでなく市民に体感、意見をいただける機会になったと思う。
- 問** 一部トイレは廃止ではなく存続の希望が強く出されているが、今後どのように対応するのか。
- 答** 十分承知はしており慎重に検討していきたい。
- 問** 一定量を超える飲酒を続けることは、健康に悪影響を与える。市としての啓発の取組み状況を伺う。
- 答** 各種健診後の保健指導、妊婦面談等で実施している。
- 問** 学校での指導はどのようになっているのか。
- 答** 小中学校でも、飲酒の弊害や薬物乱用防止教育を実施しているが、飲酒運転防止の啓発は行っていない。
- 問** 高額療養費の上限引き上げの動きがあるが、長期療養者等の大きな負担がでる。市としての考えを伺う。
- 答** 今回の引上げ議論が患者不在で進んだことは遺憾である。セーフティネット機能は重要であり、高額治療を長期に続ける患者等への配慮が必要である。



▲撤去予定の諏訪第3公園のトイレ



**藤原マサノリ** (志政会)

2025年問題と健康増進策について

- 問** 健康推進には事業者などを含めて健康データの周知と共有で関心をさらに高める必要があるのではないかと。
- 答** 健康調査に類するデータは色々あるが広く周知という点では十分ではない。さらに取組んでいく。
- 問** 若年期の生活習慣病に加え、高齢者と女性の就業率が高まる中で職域との連携は重要と考えるがいかがか。
- 答** 健康無関心層や女性の健康づくりに向けて、市内業者と協力体制を構築し積極的に取組んでいく。
- 問** がん検診や健診率、人工透析数、野菜摂取や減塩割合、歩数などを蓄積し改善目標にすべきではないか。
- 答** データヘルス計画推進に向けて各種データの蓄積や可視化は重要と考える。さらに工夫を強化していく。
- 問** フレイル予防には栄養・運動・睡眠・社会参加が必要。さらに効果を上げるエビデンスが必要ではないか。
- 答** フレイル予防に関するデータは共有しているが、他のデータとの結びつきが弱い。全庁で改善したい。



**いちぢ恭子** (ネット・社民の会)

- 1.教師も生徒も“安心できる”学校とは
- 2.「地域協創」のこれから

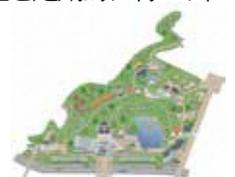
- 問** 今年度開始のエデュケーション・アシスタントについて、導入効果と今後の展望について伺う。
- 答** 東京都の補助金を受けて、全小学校に各1名配置。学習支援や登下校の見守り等を行う。非常に好評で補助制度も持続されるため、来年度も続けたいと考えている。
- 問** 学校始業前の子どもの居場所について、親の出勤後に孤立しているケースはないか。
- 答** 多摩市では確認していない。「子どもの朝の居場所」対策を取っている自治体もあることは承知している。
- 問** 地域協創の取組みを進めるには、市民との間の信頼関係が重要。どう考えているか。
- 答** 先行地域でエリアミーティングを開き、市民と職員が共に地域課題の解決に取り組んでいる。今後、地域を拡大していく。
- 問** 高齢化により地域課題も深刻さを増す中、成功の鍵は何か。
- 答** 多世代の参画と多分野の協働を地道に進める。



**あらたに隆見** (公明党)

- 1.新たなステージの公園を活かしたまちづくりについて
- 2.地下インフラの点検について

- 問** 若い人たちが集い、出会いの場となる公園活用やクリエイティブキャンパス構想への思いを伺う。
- 答** クリエイティブキャンパス構想が揃いワクワクしている。多くの皆さん、特に若い人たちが集い夢を実現できるまちづくりを進めていく。
- 問** 4月5日オープンが多摩中央公園のPR戦略について伺う。
- 答** 指定管理者のスタッフによる即時情報発信や市の記者会見、広報部員などのSNSの発信などを活用していく。
- 問** 新たなグリーンライブセンターの役割について伺う。
- 答** みどりと環境の拠点として従来のみどりの分野に加え、環境啓発や市民の環境活動のコーディネートを担ってもらおう。
- 問** 多摩市の下水道老朽化対応はどうしているのか伺う。
- 答** テレビカメラや目視による管内調査を定期的に行い、下水道施設長寿命化計画を進めている。
- 問** 路面下の空洞化調査はどうされているのか伺う。
- 答** 舗装面の劣化状況調査を毎年行い、幹線道路など必要に応じて路面下空洞調査を行う。



▲多摩中央公園マップ



## しらた満 (青空りっけん)

1. 予算要求時、乖離<sup>かいり</sup>80億円の財政難に市民の安全安心を確保できるのか
2. 多摩市の子ども政策と安全について

- 問** 新年度予算編成の優先順位と議論の内容を問う。
- 答** 財源厳しく、総合計画を止めず将来への投資も実施し状況変化を踏まえ補正予算をお願いする考え。
- 問** 自動運転バスの走行実験は多摩市に役立ったのか問う。
- 答** 継続的安定的な実証実験が必要、長い年月を要す。
- 問** 町田市では小山田地区～唐木田～南部地域病院までミニバスが運行、和田地域はミニバスも廃止予定、病院もない。健幸都市として、公共交通をどう考えるのか問う。
- 答** アンケート等や市民の意見から着地点を考えている。
- 問** 都ドクターヘリのランデブーポイントはなくてよいか。
- 答** 運用は東京都が行い、多摩市内にはない。
- 問** 小学校体育館の空調設備整備に補助金の活用は可能か
- 答** 緊急防災・減災事業債は不交付団体で慎重な対応が必要。
- 問** 朝の小一の壁問題で重要な、正規で働き続けられる環境整備と「ママ・ファースト」の視点について問う。
- 答** 東京都の補助金も不十分。ヒアリングし多摩市だけでなく東京全体で考えて欲しい。



## 上杉ただし (日本共産党)

1. 東寺方老人福祉館と児童館の基本方針について
2. さえずりの森の管理について

- 問** 基本方針の老人福祉館を廃止することに対して、パブリックコメントでは反対の声も上がっていることについて所管の考えを問う。
- 答** 地域の皆さんと対話を行い、地域の新たな施設としてどのようなあり方が望ましいのか共に検討していく。
- 問** 東寺方児童館は、愛宕児童館と統合する案が示されている。今後統合されてしまえば、再び児童館の必要性が高まったときにすぐに対応できなくなるのではないか。
- 答** 東寺方地域に限らず、子どもの居場所は、放課後子ども教室の週5日実施、複合施設内での居場所の確保などにより、各地域の需要に応じていきたい。
- 問** 永山いちよう通りでは、銀杏が冬に路面に落ちることが増えたため、凍結し滑りやすくなっている。この状況についての所管の認識を問う。
- 答** 永山いちよう通りの清掃活動では、歩道部は年に1回程度清掃を行っているが、清掃回数を増やすなど対応を検討していきたい。



## 渡辺しんじ (公明党)

- ふるさと納税に関する取組みについて

- 問** ふるさと納税による住民税の市外への流出が年々増加し続けている状況について市の見解を問う。
- 答** 財源不足のため、市民サービス等の質の低下、廃止をせざるを得ない状況になる。返礼品の拡充、充実が対応策になると考える。
- 問** 6.4億円が流出している現状をPRする一方で、広報等で返礼品の案を市民や職員から募ってはいかがか。
- 答** 事業者等から提案は受付けているが、今後検討する。
- 問** 多摩市の返礼品の中で市内にあるテーマパークのチケットが人気だが、インセンティブ(動機付け)の付与など、工夫をすべきと考える。また、市内にある電鉄の車両車庫見学ツアーや人気アニメの聖地巡礼バスツアーなど、ターゲットをマニアや全国に目を向け、思い切った返礼品のメニューを考え、税収増をめざしてもらいたいかがいかがか。
- 答** 多摩市ならではの強みを活かして、メニューを考え、来街、定住に繋がる取組みを検討していく。



## 本間としえ (公明党)

1. 東寺方複合施設の今後について
2. 短すぎる学校の給食時間について
3. 災害発生時の情報伝達について

- 問** コミュニティ施設の今後のあり方に関する基本方針案と児童館の今後のあり方基本方針案へのパブリックコメントを受けて、各素案へどのように反映させたか問う。
- 答** 今後のスケジュールを施設ごとに掲載し、東寺方複合施設内に子どもの居場所を確保することを明記した。
- 問** コミュニティスタディールーム機能に重きを置いた東寺方図書館と利用時間延長を提案するがいかがか。
- 答** 今後の市民検討会や利用者の意見を伺い検討する。
- 問** 多摩市立中学校の給食時間は、準備片付けを含めて25分から30分。食べる時間は15分程度。望ましい食習慣を養えず弊害があるので、喫食時間を延長できないか。
- 答** 少しでも「食べる時間」を増やす工夫をしている。
- 問** 災害情報インフラであるLアラートや、新総合防災情報システム(SOBO-WEB)について、多摩市としてどのように準備しているかと、災害対応への効果を問う。
- 答** 災害時に適切な運用ができるように努めており、災害の全体像を把握できることから、適切な災害対応につながると考える。





### 小林憲一 (日本共産党)

1. 学校・学童クラブ、作業所などへの通学・通所支援制度の創設を
2. 道路破損等対応モニター制度導入を

**問** 長い間、知的障がい児、発達障がい児等の保護者は、学校・学童クラブ、作業所等への移動支援制度を求めている。財源や人材確保の課題をのりこえ、なんとしても解決するかまえて取り組むべきではないか。

**答** 福祉サービス制度のなかでどう対応していけるか、他自治体の動向も注視しながら検討をすすめていく。

**問** 特に小・中学校への通学支援は、教育委員会が健康福祉部と協力・共同して保障する責任があると考えられるがどうか。

**答** 配慮が必要な子どもたちにどういう支援が可能か、市教委と健康福祉部とで連携して検討をすすめる。

**問** いわゆる既存地域の戸建て住宅地の側溝の詰まりや道路破損の修復については、住民通報を受けて対応するのが合理的とのこと。しかし、よりシステム化するためにも、住民や自治会等を対象にしたモニター制度をつくるべきではないか。

**答** この間、「道路通報システム」も利用がすすんでいる。提案のモニター制度もぜひ検討してみたい。



### 岩崎みなこ (ネット・社民の会)

1. 改修後のグリーンライブセンター
2. まちづくりを尾根幹線沿線の唐木田地区から考える

**問** グリーンライブセンター運営受託候補者の選定結果の公開は合計点数のみだ。次点者の名誉のため内訳も公開すべきではないか。

**答** 参加辞退を避けるため、最小限の項目を公表することを事前周知していた。

**問** 議会への誠実な情報公開の点で、今後、環境の拠点ともなるグリーンライブセンターについて、12月議会でも経過報告はすべきではなかったか。

**答** 決定時期の都合上難しかった。

**問** スマホアプリ、「i Naturalist」に市民から1500種を超える生きものの情報があり2/5号のたま広報では驚くべき成果と掲載があった。しかし、市はこれらの生物多様性が、とりわけ既存地域においては簡単に失われてしまう危険性の認識を持つ必要があるのではないか。

**答** 様々な手法を使って民地の緑を守っていきたい。

**問** 唐木田は地区計画もあることにも配慮し、データセンターの工事の音や完成後の課題など、あった際には、地域課題として地域担当の協創職員に言っているのか。

**答** 課題を聞きとった場合は、庁内連携し所管に伝え対応する。



### 中島律子 (あすたま・維新)

1. 学校給食の活用について
2. 不登校児童をもつ親へのサポートについて

**問** 夏休みにおける学童クラブ、また福祉事業所や高齢者施設への給食提供について検討いただけないか伺う。

**答** 配送方法の検討や、調理員人件費等の費用増加が想定されるなど新たな課題を伴うため、現時点では考えていない。

**問** 不登校のお子さんが学ぶ「ゆうかり教室」に通うお子さんはお弁当を持参しなければならない。給食を提供すべきと思うがどうか。

**答** 学校給食を他の場所へ届けてはいけないという規定はないが、衛生面などをよく調べて考えていく。

**問** 不登校生徒児童の保護者に対する支援について伺う。

**答** 相談機関のさらなる周知を図り、保護者が相談先を選択できる工夫などが必要であると考えている。

**問** 不登校になった時に利用できる様々な居場所について、市内のフリースクールやフリースペースなどの周知が不足しているがどうか。

**答** どのような情報発信ができるか検討していく。



### いいじま文彦 (自民党)

1. 「楽しい防災」「おいしい防災」
2. 人口減少時代とニュータウン再生

**問** 東日本大震災以降、我が国は地殻変動の時代に入った。首都直下地震や南海トラフ巨大地震は待たなしである。多くの方が防災・減災に取り組むよう「楽しい防災」「おいしい防災」を実践して欲しいが、いかがか。

**答** 遊びや楽しみの要素を取り入れた防災啓発を行うことで、より多くの市民の皆さんの防災意識の高揚や行動変容につながる取り組みを行っていきたい。

**問** 他の自治体に比べると、人口に対する供給戸数の割合が高い公営住宅や公的賃貸住宅について、実際に必要な供給戸数はどのくらいの規模が適正か、実態を踏まえ、削減の視点を持って、市の考えを示すべきではないか。

**答** 日本の住宅市場は新築志向が根強いいため、今後も住宅が作られ続ければ、必然的に空き家も増えるので、都市機能や居住の誘導にかかる立地適正化計画における考え方、また、新たな住宅土地統計調査に基づき、公営住宅や公的賃貸住宅の将来的な必要ストック数についても、人口減少社会を見据えたくらうで推計していくべきであろうと考える。



▲子どもと一緒に防災訓練



## おにづかこずえ (あすたま・維新)

- 1.ひとり親家庭支援について
- 2.新一年生プレクラス導入について

**問** ひとり親家庭の会「ほほえみ」に参加してる世帯数を伺う。

**答** 当事者団体ほほえみは季節毎にイベント開催し交流を通して励まし合える仲間づくりを行っている。参加世帯数は38世帯である。

**問** 多摩市において緊急時の子どもの預け先にはどのような手段があるか伺う。

**答** 一時保育やショートステイ事業がある。

**問** 様々な環境から入学して来る子どもたちに特に気を付けて対応していることはあるか伺う。

**答** 特に気をつけて対応していく点として、食べ物アレルギーのある児童や、特別な支援を必要としている児童の学校での配慮が挙げられる。

**問** 過去にプレクラスを行った学校はあるか伺う。

**答** 過去に行ったのは1校である。しかしクラス替えとなった児童の不安や保護者の理解が得られなかったケースがあるなどの課題があった。今後行うには保護者に説明し理解が必要と考える。



## 2025子ども議会探検のお知らせ

子ども議会探検では、普段は入れない議場やその裏側を探検したあと、議席に座って質問したり、議長席に座ったりもできます。

議会の仕組みを学ぶきっかけに、探検してみませんか？

市議会議員全員で皆さんをお待ちしています。

- 開催日時 令和7年7月30日(水)  
午前9時30分～12時
- 開催場所 多摩市議会(市役所4階)  
多摩市関戸6-12-1
- 対象 市内在住・在学の小学4～6年生  
(保護者同伴可)
- 定員 26人程度 ●参加費 無料

### ●申込方法

右のQRコード(市公式ホームページ)からお申し込みください。また、参加申込書付チラシを議会事務局へ郵送または持参でもお申し込みいただけます。

※参加申込書付チラシは学校・コミュニティセンター等で6月中旬頃に配布します。多摩市議会ホームページにも掲載します。

6月20日(金)受付開始 7月11日(金)(必着)



## 議長活動報告

令和7年2月～4月の議長の公務の一部をお知らせします



多摩市議会議長  
三階 道雄

### 令和6年度南多摩市議会議長会 鉄道事業者要請行動 (2月4日)

南多摩5市(八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市)の議長が、京王電鉄株式会社と多摩モノレール株式会社に鉄道事業の整備促進に関する要望書を提出しました。

京王電鉄株式会社には、ホームドアの設置や、踏切により一

宮地域が分断されている状況解消に向けた聖蹟桜ヶ丘駅から百草園駅間の立体化について要望。

多摩モノレール株式会社には、多摩センターから町田間の延伸について、まちづくり構想に基づいてスムーズに進めていただくよう要望。

南多摩市議会議長会では近隣5市で連携を図り、毎年様々な要請をしています。



### 多摩中央公園グランドオープン(4月5日) せいせき桜まつり、多摩センター桜まつり(4月6日)

多摩市の春を象徴するイベント「桜まつり」が聖蹟桜ヶ丘駅と多摩センター駅で開催され、議長が出席しました。

多摩市は多くの桜の名所があり他市からも多くの方が訪れます。

また、4月5日には多摩中央公園がグランドオープンし、こちらも大いににぎわいました。

魅力的なまちづくりを推進し、活力ある多摩市へと市議会も取組んでまいります。



審議結果 - 令和7年第1回定例会 -

市長提出議案 35件 議員提出議案 2件

全員一致で決定した議案

市長提出議案

【原案可決】

- ・令和6年度多摩市一般会計補正予算（第9号）
- ・令和6年度多摩市一般会計補正予算（第10号）
- ・令和6年度多摩市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- ・令和6年度多摩市介護保険特別会計補正予算（第5号）
- ・令和6年度多摩市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
- ・令和7年度多摩市一般会計予算
- ・令和7年度多摩市介護保険特別会計予算
- ・令和7年度多摩市後期高齢者医療特別会計予算
- ・令和7年度多摩市下水道事業会計予算
- ・権利の放棄
- ・市道路線の廃止
- ・多摩市手数料条例の一部改正
- ・多摩市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部改正
- ・多摩市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- ・多摩市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正
- ・多摩市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正
- ・多摩市会計年度任用職員の任用、勤務条件等に関する条例の一部改正
- ・多摩市市税条例の一部改正
- ・多摩市企業立地促進条例の一部改正
- ・多摩市みんなの文化芸術条例の一部改正
- ・多摩市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定
- ・社会福祉法人の保育所に対する補助金の交付に関する条例の一部改正

- ・多摩市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正
- ・多摩市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正
- ・多摩市地域包括支援センターの人員及び運営の基準に関する条例の一部改正
- ・多摩市立公園条例の一部改正
- ・多摩市下水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正
- ・大松台小学校改修工事の請負契約の締結
- ・大松台小学校改修に伴う電気設備工事の請負契約の締結
- ・令和6年度多摩市一般会計補正予算（第11号）
- ・令和7年度多摩市一般会計補正予算（第1号）

【同意】

- ・多摩市総合オンブズマンの委嘱につき同意を求めること
- ・多摩市副市長の選任につき同意を求めること

議員提出議案

【原案可決】

- ・多摩市議会個人情報保護条例の一部改正
- ・性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書

意見の分かれた議案

議案名	公	共	自	ネ・社	あ・維	青	み	志	風	維新	結果
令和7年度多摩市国民健康保険特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
多摩市国民健康保険税条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

公=公明党(5人)、共=日本共産党(4人)、自=自民党(4人)、ネ・社=ネット・社民の会(3人)、あ・維=あすたま・維新(2人)、青=青空りっけん(1人)、み=多摩みらいの会(1人)、志=志政会(1人)、風=多摩の風(1人)、維新=日本維新の会(1人)

※公明党の会派人数は5人ですが、採決は三階道雄議長を除いた4人で行います。 ○：可決 ×：否決

議員辞職と議会人事の変更について

池田桂議員から議員辞職願が提出され、令和7年2月20日付で議長が辞職を許可しました。

これにより委員会等に欠員が生じた対応として以下のように選任されました。

- ・議会運営委員：上杉 ただし議員
- ・予算決算特別委員会理事：大くま 真一議員





# 市民との意見交換会

## 総務常任委員会 × 多摩市農業委員会



令和7年1月14日、多摩市農業委員会の委員の皆様から、「多摩市の農業における現状と課題について」をテーマに、農業委員のみなさんが活動で工夫されていること、ご苦労されていること等についてお伺いしました。

### 農業委員から出された課題、市への要望など

農産物では、有機野菜が多い市内産野菜の安心安全をもっとアピールしたい、気候変動のもと農家の暑さ対策等の工夫を注目してほしい、PR・販路拡大では、直売所が多摩センター地域にない、農家が売りたい野菜を応援する仕組みがほしい、などの意見がありました。

農地保全では、「食・農・環境」の3者連携の仕組みをつくりたい、支援策では、資材等の高騰が続いているなか補助を行ってほしい、若手の農機具購入費用の支援、などの要望がありました。人材育成では、20年、30年後の多摩市の農業を支える人は若い方であり、彼らのやる気が起きる施策を考えてほしい、などの意見が出されました。

### 「多摩市ブランド」表示など市として受け止めるべき課題

出された意見・要望の内容は多岐に渡りましたが、社会の基礎である農業の持続可能性が危ぶまれるという危機感が委員たちの意見から伺えました。国や都に提起することも多くありますが、多摩市の課題として市内産野菜に「多摩市ブランド」の表示をすること、また財源などの課題はありますが、農業者への支援など、議会として都市農業振興に寄与していきたいと思えます。



## 健康福祉常任委員会 × 多摩市民生委員協議会



令和7年1月20日、多摩市民生委員協議会の役員の方々と「民生委員の仕事とは」、「現在の課題と今後の展望」をテーマに意見交換を行いました。

### 現在の課題と今後の展望

現在、民生委員が抱える一番の問題は何といても「成り手不足」です。この問題は、全国的にも共通する問題であり、本市も例外ではありません。高齢化が進む中で深刻化は増えています。また、成り手不足を解消しにくい要因として、法律上、当該地域の住民であることが民生委員になる場合の条件であることや、地域の様々な活動が低迷化していることにも原因があると言えます。よって、民生委員一人一人の肉体的負担に加えて、精神的な負担もより大きくなっている現状が理解できました。日常活動の中では、民生委員の世話になっていることを知られたくないという方への配慮や、夜間の緊急対応が難しい状況であることなどから、現実的な支援の難

しさも浮き彫りになっています。

今後は、オンラインの活用などで負担の軽減を考えてはいますが、効果のほどは未知数です。意見交換を行った当委員会としては、市民が安心して地域で暮らすためにも、民生委員の活動は重要であると考えています。よって、民生委員の成り手を確保し円滑な活動を継続していくためにどうしたら良いのか、議会としても引き続き研究していくことが必要であるため、今後も民生委員の皆様と意見交換の機会を継続させる必要があると考えます。



多摩市議会の各常任委員会では、それぞれの所管にかかわる市政の課題について、市民のみなさまとの情報共有や意見の聴取のため、必要に応じて意見交換会等を行っています。

今号では、今年の1月から2月にかけて実施した意見交換会の内容をご紹介します。

## 生活環境常任委員会 × 多摩グリーンボランティア森木会 しんぼくかい



みどりの保全などのボランティア活動や、講座などを通じたボランティア育成の取組みの現状と課題について、多摩グリーンボランティア森木会の役員の方々と2月4日に意見交換を行いました。

### 人と自然が共生するまちづくりを自主的、自発的に進めることを目的に

200か所を超える公園や緑地にある豊かなみどりは本市の魅力の一つです。多摩グリーンボランティア森木会ではその公園や緑地にある雑木林の維持管理やグリーンボランティア講座を開催し市民ボランティアの育成に取り組まれています。

2021年に本市は市制施行50年が経ち、市内のニュータウン開発時に植えられた木も同様の年月が経ちました。しかし木は樹齢25年あたりで、二酸化炭素固定量が徐々に下がってくるため、それまでに萌芽更新ほふがこうしんさせることが大事であること。さらに本市の特徴として、植えられている土の層が薄く根の張りづらさがあると伺いました。そのため講座では暴風で木が揺れる実態をビデオで見てもらい、適切な萌芽更新

が行われなければ倒木の恐れがあること、人の手を入れていく必要性について学んでもらっているそうです。

一方で、このような活動にかかわる人材の発掘や、必要機材の更新にかかる費用などの課題があることがわかりました。

### 楽しみながらボランティア活動ができるように

今後も多摩市が誇る、地球環境にも重要な「多摩市のみどり」を守る活動を、限られた財源の中で継続していかなければいけません。ボランティアの人が安心して、楽しく活動できるよう、その環境整備について議会としても市とともに考える必要があると感じました。



## 子ども教育常任委員会 × 東寺方小学校世話人会



市は、昨年秋から貝取小学校と連光寺小学校で週5日の法人委託の放課後子ども教室を実施しています。そして、今年度、待機児童の多い東寺方小学校と南鶴牧小学校の2校でも実施します。今回、今年度実施となる東寺方小学校の保護者から貴重なご意見、ご要望をいただきました。

### 保護者の方からの放課後子ども教室についての要望

体育館は、子どもたちが体を動かすのに大切な場所ですが、近年の猛暑は命にも関わるとも言えます。現在、空調も断熱も設置していないため、一様に、何とか設置して欲しいとの切実な声をいただきました。

見守りの人数について、委託先の法人の職員に無理をさせたくないという配慮する声と、これまで、放課後子ども教室を実際に運営していたため、大変さを熟知していることから、プロの人でも子どもを見守るのは大変だとして、余裕のある人数を法人に付けるべきとの声もいただきました。

週5日で、夏休み実施と聞くと、居場所というより安心な預かりの場だと期待する保護者も多いので、学童クラブとの違

いを周知する必要があるとの指摘を受けました。

### 世話人会の保護者の皆さんの思い

東寺方小学校の保護者の方は、市内のすべての学校に、放課後子ども教室の実施と体育館の空調の設置を要望されてきました。我が子、あるいは、自分の地域だけではなく、多摩市全体が、こどもまんなかとなるように考え行動されていると感じました。



# 市民と議会

つ なが る

みんなのリバティ × 子ども教育  
常任委員会

みんなのリバティでは、こどもたちに家庭でも学校でもない第三の居場所を提供しています。大人が食事や学習の支援、遊びの相手などをしてくれる安心で安全な居場所は、商店街の一角という立地もあり、地域とつながった活動も特徴です。



一階のカフェでは、こどもたちに手作りの食事を提供しており、この食を通じて、こどもたちは生活習慣や最低限のマナーも身につけています。弁当を提供する配食サービスも好評。一般のお客さんの利用も可能になっています。二階は大きなフロアになっており、勉強したり、遊んだり自由な空間になっています。昨年からは、ヤングケアラーの支援にも取り組み、学習支援や家事支援、イベントの開催など活動の範囲を広げられています。

## 「居場所」と「食事」の提供 財政面が課題

こどもたちが「学校に行かない」という選択をした際に、日中家を空ける保護者が直面するのがこどもの「居場所」と「食事」です。ニーズが高い取り組みですが、「民間の新しい取り組みへの補助がまだまだ十分ではなく、財政面は課題だ」ということでした。



今回は、子どもたちの居場所づくりに取組んでくださっている「みんなのリバティ」さん、「こどもりビング」さんの皆様にお話を伺いました。

こどもりビング × 子ども教育  
常任委員会

こどもりビングは「こどもたちのこどもたちによるこどもたちのための居場所づくり」をめざし、活動されています。学童保育とカフェに加え、昨年からは、朝から利用できるフリースクールも始まっています。こどもたちはアイデアを出しあい、高齢者施設を訪問したり、駄菓子屋さんを開催したり等々。職員の方達は「こどもたちのアイデアをサポートすることで自己肯定感を高めてあげたい」との想いを話してくださいました。

カフェでは栄養と愛情たっぷりの日替わりフードメニューもあり、こどもを連れてお母さんがふらっと息抜きに立ち寄ることも。学童クラブ・フリースクールの昼食やおやつも提供されています。お母さんとご飯を食べに来ているうちに、学校に通わなかったお子さんがフリースクールに通うようになったというお話もお聞きしました。

## こども自ら選べる環境づくりを

「保護者やこどもの『欲しいけど無いもの』を実現し、こども自ら選べる環境づくりを行っていきたい。こうした民間の活動にも資金的な支えがあればありがたい」というご意見もいただきました。

